

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



発熱外来やPCR検査の実施 入院と療養施設の整備拡充

十分な情報発信を

新型コロナウイルス感染拡大防止の「緊急事態宣言」が、5月14日、兵庫県等8都道府県を除く39県で解除。陽性者の減少で順次解除の方向が考えられています。予断は許せません。私たち日本共産党議員団は引き続き、発熱外来の設置やPCR検査と抗体・抗原検査の実施、入院と療養施設の整備拡充、家賃補助など生活支援、十分な情報発信や説明などを求め続けています。

検査少く予断許さず

伸び悩む検査数や自宅待機による濃厚感染者の発生など、市中感染の実態が未だつかめず、まだまだ予断を許さない状況が続きます。

「10万円」世論で実現

「医療の確保」「自粛と補償はセットで」の世論が政治を動かして始めています。

限られた世帯にややこしい線引きで30万円を給付するという当初の政府案は、「すべての人に一律10万円の早期給付」に変えさせました。

持続化・支援事業も

緊急事態宣言延長による補償を求める声も大きく広がっています。

「家賃や光熱水費が払えず店をたたむしかない」「自粛といわれても生活が立ち行かず休めない」といった事業主やフリーランスの方々の悲痛な叫びが、経済産業省の「持続化給付金」と兵庫県・川西市の「休業要請事業者経営継続支援事業」の創設や拡充につながっています。

「煩雑すぎる」・「諦めず

川西市では、私たち議員団も要望してきた全世帯水道料

川西市も支援策

「書類が煩雑過ぎる」「対象からこぼれる」などの声が聴こえてくるころですが諦めず、誰ひとり落ちこぼさない制度に作り変えることが大切です。みなさんの「困った」が解決の糸口、「一緒に国民の声で政治を動かしていきましょう。」

学生支援策も動く

子ども達や学生も声をあげ、「学費値下げ」「生活費支援」の署名などで訴え、いよいよ国会で「授業料値下げ・収入減の学生への給付金支給・奨学金の返済免除」が動こうとしています。

コロナ終息と生活、経済の再生には「自粛と補償はセット」が不可欠。抜本的な財源確保を行い、憲法の理念通りのひとり一人の基本的な権利を守られ、地域が元気に活動できる社会へコロナ危機を乗り越えて築いていきましょう。声を合わせ、行動し続けることが要です。「住民が主人公」の国づくり・まちづくりを進めましょう。

市も緊急経済対策

介護や障がい者(児)施設など最前線の福祉施設への支援(国の持続化給付金の対象にならない法人に30万円)もはじまります。

5月13、15日開催の臨時市議会で、一般会計・補正予算として「新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策について」を審議。①新型コロナウイルス感染症対策、②緊急経済対策、③ポストコロナ対策を柱

特別定額給付金に関するお知らせ



給付金のサギに注意!!

(詐欺)

絶対に教えない! 渡さない!

- 暗証番号 ●通帳 ●マイナンバー
- 口座番号 ●キャッシュカード

市区町村や総務省などが以下を行うことは絶対にありません

- ✕ 現金自動預払機(ATM)の操作をお願いすること
- ✕ 受給にあたり、手数料の振込みを求めること
- ✕ メールを送り、URLをクリックして申請手続きを求めること

「怪しいな?」と思ったら遠慮なくご相談ください

消費者ホットライン (尚書なしの3桁) 188

新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン 0120-213-188

総務省 給付金

お住まいの市区町村

お近くの警察署

警察相談専用電話 #9110

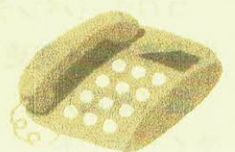
総務省 消費者庁 警察庁



注意 コロナ詐欺

川西市消費生活センター 740-1167

川西警察 755-0110



兵庫県の状況

5・13 (24時)	人数	前日比
陽性者(累計)	697	+3
入院中	121	-17
退院	539	+18
死亡	37	+2

伊丹健康福祉事務所の状況

5月14日15時発表	人数	前日比
伊丹健康福祉事務所管内	96	0
うち、川西市	29	0
うち、伊丹市	52	0
うち、猪名川町	1	0
本人の意向で自治体名非公表	14	0

川西市 マスクポスト
未使用・未開封のマスクを市役所・公民館へ市内15郵便局へ(5月29日まで)。善意銀行を通じて必要な処へ配布されます。



熱中症・水分補給